

【郵送出願】令和8年司法試験出願要領

司法試験委員会

【注意事項】

本紙は、「郵送出願」のための出願要領です。

- 不備願書は、出願期間内に補正を完了する必要があります。なお、記入内容に誤りがあった場合、司法試験法第10条に規定する不正受験とみなされ、合格取消等の処分を受けることがありますので、十分に注意して記入してください。
- 本紙における「記入基準日」は、令和8年4月1日となります。
本紙で特に指定のない場合は、記入基準日現在の状況を記入してください。
- 令和8年3月に法科大学院課程を修了し、同課程修了の受験資格に基づき受験する場合は、当該法科大学院課程の修了状況（修了見込みを含む。）を必ず確認の上、出願期間内に出願するようにしてください。
- 受験願書は、司法試験委員会が交付する令和8年司法試験受験願書以外は使用できません。
- 黒インクのボールペン（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使い、各項目欄に漏れなく、楷書で正確かつ丁寧に記入してください。正確かつ丁寧に記入していない場合、電子計算機で正しく読み取れず、誤った情報が入力されることがあります。
- 各項目欄は左詰めで記入してください。
- 記入した事項（数字記入欄を含む。）を訂正する場合は、誤った事項を二重線「=」で抹消し、その上又は横に書き直してください（修正液や修正テープ等は使用しないでください。訂正の文字は各項目欄の枠からはみ出ても差し支えありません。）。訂正印を押す必要はありません。

目次

①氏名	1
②旧氏名（該当者のみ）	1
③通称又は旧姓（該当者のみ）	1
④本籍地又は国籍	2
⑤生年月日	3
⑥性別	3
⑦住民票コード	3
⑧職種コード	4
⑨受験者ID（該当者のみ）	5
⑩司法試験受験回数	5
⑪受験資格等	7
⑫希望エリア	15
⑬受験特別措置の希望（該当者のみ）	17
⑭選択科目	17
⑮写真貼付欄	17
⑯現住所（郵便物送付先住所）欄	18
⑰連絡先欄	18
収入印紙貼付欄	18
受験願書記入例	19

①氏名 ②旧氏名 ③通称又は旧姓

①氏名

上欄は、氏名の読みをカタカナで記入し、濁点・半濁点は1字としてください。
下欄は、氏名を記入し、楷書で、戸籍等に基づき正確に記入してください。
なお、平仮名等を含む場合は、濁音・半濁音の文字は1字として1マスに記入してください。
※ 受験者への通知、官報公告等は、JIS（日本産業規格）第2水準までの漢字を使用し、それ以外の文字（いわゆる外字等）は、JIS第2水準までの漢字に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。

記入例

氏名が司法みずき（シホウミズキ）の場合

(姓)		(名)													
カタカナ	シ ホ ウ	ミス キ													
①氏名	司 法	み ず き													

**②旧氏名
(該当者のみ)**

次に該当する場合は、旧氏名及び氏名変更年月（和暦）を記入してください。

- 過去に司法試験、旧司法試験第二次試験又は司法試験予備試験に出願した方（出願したものを受け取らなかった方を含む。）で、最後の出願時の氏名と記入基準日現在の氏名が異なる場合
- 法科大学院課程修了の受験資格又は法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方で、法科大学院において使用していた（している）氏名と記入基準日現在の氏名が異なる場合

※ 氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。

※ 最後の出願以降に、記入基準日現在の氏名への変更届を提出している場合は記入不要です。

記入例

令和7年司法試験に出願した方が、令和7年12月に戸籍上の氏名「法務みずき（旧氏名）」を「司法みずき（現氏名）」に変更した場合

(姓)		(名)													
カタカナ	ホ ウ ム	ミス キ													
②旧氏名	法 務	み ず き													

（氏名変更年月 平成・令和 7年 12月）

**③通称又は旧姓
(該当者のみ)**

次に該当する場合は、使用を希望する通称又は旧姓（戸籍上の旧氏名）を記入してください。

- 日本国籍を有しない方で、通称の使用を希望する場合
- 旧姓（戸籍上の旧氏名）の使用を希望する場合（氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。）

※ 通称又は旧姓の使用を希望した場合、官報公告等における氏名は、通称又は旧姓が記載されます（受験者への通知は、通称又は旧姓が通称名として併記されます。）が、合格証書は戸籍等に基づく氏名が記載されます。

記入例

戸籍上の氏名は司法みずきだが、法務みずき（旧姓）の使用を希望する場合

(姓)		(名)													
カタカナ	ホ ウ ム	ミス キ													
③通称 又は旧姓	法 務	み ず き													

④本籍地又は国籍

④本籍地又は 国籍

本籍地又は国籍を以下の「本籍地・国籍コード表」から選択してください。
日本国籍を有する方は、【本籍地又は国籍】欄に、該当コード及び都道府県名を記入し、日本国籍を有しない方は、【本籍地又は国籍】欄に、該当コード及び国籍を記入してください。

記入例 1

本籍地が「熊本県」の場合

④本籍地又は 国籍	コード	4	3	本籍地又は 国籍名	熊本	都道 府県
--------------	-----	---	---	--------------	----	----------

記入例 2

国籍が「大韓民国」の場合

④本籍地又は 国籍	コード	5	3	本籍地又は 国籍名	大韓民国	都道 府県
--------------	-----	---	---	--------------	------	----------

本籍地・国籍コード表

本籍地・国籍	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

本籍地・国籍	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
日本国籍以外	53

⑤生年月日 ⑥性別

⑤生年月日

⑥性別

【生年月日】欄

生年月日を和暦で記入してください。

元号を以下の「元号コード表」から選択し、元号欄に記入するとともに、「年、月、日」の各欄に、該当する算用数字（数字が1桁の場合は先頭に「0」を付与）を記入してください。

【性別】欄

性別を以下の「性別コード表」から選択し、該当コードを記入してください。

記入例

平成8年9月17日生の女性の場合

	元号	年	月	日		コード	
⑤生年月日	H	0	8	0	9	1	7
⑥性別						2	

元号コード表

元号	コード
大正	T
昭和	S
平成	H
令和	R

性別コード表

性別	コード
男性	1
女性	2

⑦住民票コード

⑦住民票コード

各市区町村から配付された住民票コード（11桁）を記入してください。

住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）による確認を行いますので、住民票の提出は不要です。

※ 不正確な住民票コードでは住基ネットによる確認を行えませんので、住民票コードをよく確認してから記入してください。

※ 住民票コードが不明な場合は、お住まいの市区町村に問い合わせてください。住民票コードの提供に時間要する場合もありますので、お早めに問い合わせてください。

記入例

⑦住民票 コード	I	2	3	4	5	6	7	8	9	0	I
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑧職種コード

⑧職種コード

職種を以下の「職種コード表」から選択し、該当コードを記入してください。
令和8年4月2日から同月30日までの間に、入学や就職等により、記入基準日時点とは異なる職種に変更される予定がある場合には、変更後の職種コードを選択してください。

記入例1

令和8年3月に法科大学院課程を修了し、記入基準日現在、会社員である場合

⑧職種 コード	0	3
------------	---	---

記入例2

令和8年3月に大学を卒業し、同年4月2日から同月30日までの間に法科大学院生となる予定である場合

※ この場合「⑪受験資格等」の最終学歴コードは、法科大学院生のコードを選択し、法科大学院に関する事項として、入学予定の法科大学院に関する事項を記入します。

⑧職種 コード	0	7
------------	---	---

職種コード表

職種	コード
公務員（教職員を除く。）	01
教職員（公立・私立を問わない。）	02
会社員（役員を含む。）	03
法律事務所事務員	04
塾教師（家庭教師はコード10（その他））	05
自営業（農林漁業を含む。）	06
法科大学院生	07
大学院生（法科大学院生を除く。）	08
大学生	09
その他（独立行政法人職員等を含む。）	10
無職（アルバイトを含む。）	11

⑨受験者 ID

⑨受験者 ID (該当者のみ)

受験者 ID を取得している方は、「受験資格確認通知書」（過去の司法試験の受験票とともに送付）又は平成 20 年以降の司法試験成績通知書に記載の受験者 ID (11 桁) を記入してください。

旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者 ID を取得している方又は前回司法試験に出願したときと異なる受験資格で出願する方も、取得している受験者 ID を記入してください。

受験者 ID が不明な方は、司法試験委員会に確認してください。

※ 前回司法試験に出願したもののに受験しなかった方も、取得している受験者 ID を記入してください。

※ 司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方は、司法試験予備試験において取得した受験者 ID を必ず記入してください。

※ 過去に司法試験、旧司法試験又は司法試験予備試験のいずれも出願したことがない方は記入不要です。

記入例

受験者 ID が「12345678901」の場合

⑨受験者 ID	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑩司法試験受験回数

⑩司法試験受験回数

【司法試験受験回数】欄、【受験年】欄

【司法試験受験回数】欄に、今回出願する受験資格に基づき、司法試験を受験した回数を記入（受験したことがない場合は「0」を記入）するとともに、その回数と同数となるよう司法試験の【受験年】欄に「1」を記入してください（受験していない年の欄は、記入不要）。

なお、以前、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した方が法科大学院課程を修了し、今回、法科大学院課程修了の資格に基づき出願する場合（司法試験法（以下「法」という。）第 4 条の定める受験期間内である場合）は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した回数も含みます（例 4（本紙 6 ページ）参照）。

※ 今回（令和 8 年司法試験）及び旧司法試験の受験回数は含みません。

また、出願したものの受験していない場合も含みません。

記入例 1

司法試験を受験したことがない場合

⑩司法試験受験回数	回数	受験年	R4	R5	R6	R7
	0					

出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

記入例 2

法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で、令和 5 年司法試験と令和 6 年司法試験を受験した場合

⑩司法試験受験回数	回数	受験年	R4	R5	R6	R7
				I	I	
	2			I	I	

出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

⑩司法試験受験回数

⑩司法試験受験
回数
(続き)

記入例 3

平成 29 年 3 月に法科大学院課程を修了し（1 回目の受験資格取得）、司法試験を受験。更に令和 8 年 2 月に司法試験予備試験に合格し（2 回目の受験資格取得）、同試験合格の受験資格に基づき出願する場合

※ 法第 4 条で定める受験期間内を経過後に、新たな受験資格を取得し、同資格で出願する場合は、以前の受験資格に基づく受験回数は含みません。

⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R4	R5	R6	R7
	0					

← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

記入例 4

法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で、令和 7 年司法試験を法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した場合（出願したものの受験しなかった場合を除く。）

※ 以前、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した方が法科大学院課程を修了し、今回、法科大学院課程修了の資格に基づき出願する場合（法第 4 条の定める受験期間内である場合）は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した回数も含みます。

⑩司法試験 受験回数	回数	受験年	R4	R5	R6	R7

← 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

⑪受験資格等

受験資格

【受験資格等（コード）】欄

今回出願する受験資格を以下の「受験資格コード表」から選択し、該当コードを記入してください。**過去に司法試験を受験した方は、その受験の受験資格が法第4条に定める期間を経過しない場合は、他の受験資格では受験できません。**

なお、複数の受験資格を取得している方は、以下の点に注意してください。

- 法科大学院課程在学中の受験資格（見込みを含む。）と法科大学院課程修了の受験資格の両方を取得している場合
「1、3、4」のいずれの受験資格に基づき出願するか選択してください。
- 法科大学院課程在学中の受験資格（見込みを含む。）と司法試験予備試験合格の受験資格の両方の受験資格を取得している場合
「2、3、5」のいずれの受験資格に基づき出願するか選択してください。

【受験資格等（元号、年、月）】欄

今回出願する受験資格を取得した年月を和暦で記入してください。

記入に当たっては、以下の点に注意してください。

- 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合
法第4条で定める受験期間の始期の年月（令和8年司法試験が同資格で受験する最初の司法試験である場合は「令和8年4月」）を記入します。
- 今回、法科大学院課程修了の資格で出願する方で、前回、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験した場合
法科大学院課程修了の資格を取得した年月を記入します。
- 【受験資格等（コード）】欄に「4、5」を記入した場合
法科大学院課程在学中の受験資格に係る法第4条で定める受験期間の始期の年月（令和8年司法試験が同資格で受験する最初の司法試験である場合は「令和8年4月」）を記入してください。

受験資格コード表

受験資格	コード
法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する場合 (法科大学院課程在学中の受験資格に基づいて受験した方が、法科大学院課程を修了し、今回、同資格に基づいて出願する場合を含む。)	1
司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合	2
法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合 ※ 表欄外の（注）にも留意してください。	3
法科大学院課程修了の受験資格を取得し、かつ、今回出願する司法試験につき法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みの方(既に取得している方を含む。)で、法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかつたとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは、法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験することを希望する場合 ※ 法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験したことがある方は、同受験資格に係る受験期間内は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験することはできません。 ※ 法科大学院課程在学中の資格で受験する場合は、表欄外の（注）にも留意してください。	4
司法試験予備試験合格の受験資格を取得し、かつ、今回出願する司法試験につき法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みの方(既に取得している方を含む。)であって、法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかつたとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは、司法試験予備試験合格の受験資格に基づき受験することを希望する場合 ※ 司法試験予備試験合格の受験資格で受験したことがある方は、同受験資格に係る受験期間内は、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験することはできません。 ※ 法科大学院課程在学中の資格で受験する場合は、表欄外の（注）にも留意してください。	5

(注) 法科大学院課程在学中の受験資格に基づき司法試験を受けて合格した方は、司法修習生の採用要件として、その合格発表の日の属する年の4月1日以降に法科大学院課程を修了したことが必要です（裁判所法第66条第1項）。

⑪受験資格等

最終学歴	【最終学歴】欄				
	最終学歴を以下の「最終学歴コード表」から選択し、該当コードを記入してください。				
<p>最終学歴コードは、<u>法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方</u>(受験資格コード「1」)及び<u>法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方</u>(受験資格コード「3～5」)は、必ず当該受験資格に係る法科大学院に関するコードを選択してください。また、<u>司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方</u>のうち、記入基準日に法科大学院課程に在学中の方(法科大学院課程修了者を含む。)についても、当該法科大学院に関するコードを選択してください。</p> <p>なお、最終学歴コードのうち「21:法科大学院修了」～「26:法科大学院中退」のコードを選択した方は、次ページの「法科大学院に関する事項の記入方法」を参照し、それ以外のコードを選択した方は、次ページの「法科大学院以外に関する事項の記入方法」を参照して、それぞれ最終学歴に関する事項を記入してください。</p>					
最終学歴コード表					
最終学歴	コード	最終学歴	コード	最終学歴	コード
大学卒業	11	法科大学院修了	21	短期大学卒業	41
大学生（4年以上）	12	法科大学院生（4年次以上）	22	短期大学在学	42
大学生（3年）	13	法科大学院生（3年次）	23	短期大学中退	43
大学生（2年）	14	法科大学院生（2年次）	24	高等学校卒業	51
大学生（1年）	15	法科大学院生（1年次）	25	高等学校在学	52
大学中退	16	法科大学院中退	26	高等学校中退	53
		法科大学院以外の大学院修了	31	その他（専修学校、大学校等）	61
		法科大学院以外の大学院在学	32		
		法科大学院以外の大学院中退	33		

※法科大学院生の年次について

1年次：未修者コース1年目

2年次：未修者コース2年目又は既修者コース1年目

3年次：未修者コース3年目又は既修者コース2年目

4年次以上：未修者コース4年目以上又は既修者コース3年目以上

⑪受験資格等

法科大学院に関する事項の記入方法	<p>【法科大学院】欄 上欄に、法科大学院課程の修了年月（修了見込者は修了見込年月）を和暦で記入し、法科大学院名を記入するとともに、修了・中退・修了見込の別及び既修者・未修者コースの別並びに法曹・非法曹コースの別をそれぞれ○で囲んでください。 なお、ここで、<u>法曹コースを○で囲むのは、法曹コースを修了し、早期卒業等により学部3年次を終えた時点で法科大学院に進学した場合のみ</u>です。法曹コースを修了し、学部4年次以上で卒業して法科大学院に進学した場合は、<u>非法曹コースを○で囲んでください。</u> また、非法学部系（法学部系学部以外）の学部を卒業して法科大学院に進学した方は法曹・非法曹コースの○は不要です。 法曹・非法曹コースの別は、本紙14ページの「既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等コード表」を参照してください。</p>
法科大学院以外に関する事項の記入方法	<p>【法科大学院コード】欄 本紙13ページの「法科大学院コード表」から、該当コードを選択し、記入してください。</p> <p>【既修・未修等】欄 本紙14ページの「法曹コースについて」等を確認の上、「既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等コード表」から該当コードを選択し、記入してください。</p> <p>【同意】欄、【学籍番号】欄 法科大学院課程修了の方及び法科大学院課程在学中の方は、司法試験委員会から法科大学院に対して、受験資格の有無に関する事項を照会して確認しますので、<u>同照会に同意される場合は、【同意】欄に「1」を記入するとともに、【学籍番号】欄に、学籍番号（法科大学院課程修了時のもの（修了見込の場合は記入基準日のもの））を左詰めで記入してください。</u> アルファベットを含む場合は大文字で記入し、「-」（ハイフン）を含む場合はハイフンも記入してください。11桁を超える場合はハイフンを除いて記入してください。アルファベットと数字が混在している場合は、いずれであるか判別できるよう丁寧に記入してください。正確に記入しないと、法科大学院へ照会できない場合があります。</p> <p>※ 法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方のうち、<u>【⑨受験者ID】欄を記入し、かつ、前回司法試験に出願したときの受験資格に係る受験期間（法第4条で定める期間）内の場合は、【同意】欄及び【学籍番号】欄の記入は不要です。</u> ただし、以前、法科大学院課程在学中の受験資格で受験した方のうち、<u>法科大学院課程を修了し、今回、法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する場合は、改めて法科大学院に対して資格の有無に関する事項を照会しますので、【同意】欄及び【学籍番号】欄を記入してください。</u></p> <p>(注意事項)</p> <p>※ 受験資格コード「4」を選択した方は、<u>法科大学院課程「在学中」の受験資格に関する事項を【法科大学院】欄に、法科大学院課程「修了」の受験資格に関する事項を【法科大学院以外】欄にそれぞれ記入してください</u>（例4（本紙12ページ）参照）。</p> <p>司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方で、<u>【最終学歴】欄について「21:法科大学院修了」～「26:法科大学院中退」のコード以外のコードを選択した方</u>は、<u>【法科大学院以外】欄に、最終的に卒業（修了）若しくは中退した又は在学している学校名を記入し、卒業・卒業見込（修了・修了見込）又は中退した年月を和暦で記入するとともに、卒業・卒業見込（修了・修了見込）又は中退の別をそれぞれ○で囲んでください。</u></p> <p>※ 【法科大学院以外】欄の下欄（法科大学院コード等）の記入は不要です。</p>

⑪受験資格等

記入例 1

法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「1」の場合）

令和8年3月に法科大学院課程（既修者コース／法学部系／非法曹コース）を修了した方で、同課程修了の受験資格に基づき出願する場合

コード		元号	年	月	
⑪受験資格等					I R 0 8 0 3
最終学歴	法科大学院	平成 令和 8 年 3 月 司法大学 法科大学院			修了 既修 法曹コース 中退 未修 非法曹コース 修了見込
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号
		I 6 0 8 1 2 1 M O J - 1 2 3 4 5 6 7			
最終学歴コード 法科大学院生以外		昭和 平成 令和 年 月			卒業 中退 修了 既修 卒業見込 修了見込 未修
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号

非学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

記入例 2－1

司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方（法科大学院生以外）（受験資格コード「2」の場合）

令和8年3月に大学を卒業した方（記入基準日現在：法科大学院生以外）で、令和7年司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合

コード		元号	年	月		
⑪受験資格等					2 R 0 8 0 2	
最終学歴	法科大学院	平成 令和 年 月			修了 既修 法曹コース 中退 未修 非法曹コース 修了見込	
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号	
		I I	昭和 平成 令和 8 年 3 月			卒業 中退 修了 既修 卒業見込 修了見込 未修
最終学歴コード 法科大学院生以外		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号	

非学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

記入例 2－2

司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方（法科大学院生）（受験資格コード「2」の場合）

令和10年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方（記入基準日現在：既修者コース1年目／法学部系／非法曹コース）で、令和7年司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合

コード		元号	年	月		
⑪受験資格等					2 R 0 8 0 2	
最終学歴	法科大学院	平成 令和 10 年 3 月 司法大学 法科大学院			修了 既修 法曹コース 中退 未修 非法曹コース 修了見込	
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号	
		2 4	昭和 平成 令和 年 月			卒業 中退 修了 既修 卒業見込 修了見込 未修
最終学歴コード 法科大学院生以外		法科大学院コード	既修・未修等	同意	学籍番号	

非学部系の方は法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

⑪受験資格等

記入例 3-1

法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「3」の場合）

令和9年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方（記入基準日現在：既修者コース2年目／法学部系／法曹コース（早期卒業等））で、令和8年5月頃、法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであり、同大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

⑪受験資格等	コード	元号	年	月	法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します（令和8年司法試験においては「令和8年4月」）。											
	3	R	0	8	0	4										
最終学歴	法科大学院	平成 令和9年3月 司法大学 法科大学院			修了	既修	法曹コース									
					中退	未修	非法曹コース									
修了見込		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号										
I 6 0 8 1 1 1 M O J - 1 2 3 4 5 6 7																
最終学歴コード		昭和		卒業												
法科大学院以外		平成		中退	修了	既修										
2 3		令和 年 月		卒業見込	修了見込	未修										
最終学歴コード		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号										

← 非法学部系の方は、法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

記入例 3-2

法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「3」の場合）

令和7年司法試験を法科大学院課程在学中の受験資格に基づき受験し、その後法科大学院課程を修了せず、令和9年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方（記入基準日現在：既修者コース3年目／法学部系／非法曹コース）で、令和8年5月頃、法科大学院課程在学中の受験資格を取得見込みであり、同大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

⑪受験資格等	コード	元号	年	月	法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します（この事例では最初に在学中受験資格に基づいて受験したのは令和7年司法試験であるため、「令和7年4月」）。											
	3	R	0	7	0	4										
最終学歴	法科大学院	平成 令和9年3月 司法大学 法科大学院			修了	既修	法曹コース									
					中退	未修	非法曹コース									
修了見込		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号										
I 6 0 8 1 2 1 M O J - 1 2 3 4 5 6 7																
最終学歴コード		昭和		卒業												
法科大学院以外		平成		中退	修了	既修										
2 2		令和 年 月		卒業見込	修了見込	未修										
最終学歴コード		法科大学院コード		既修・未修等	同意	学籍番号										

← 非法学部系の方は、法曹・非法曹コースの○は不要です。

受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、法科大学院課程修了の受験資格に関する事項を記入してください。

⑪受験資格等

記入例4

法科大学院課程在学中の受験資格かつ法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「4」の場合）

令和7年3月に「法務大学法科大学院（既修者コース／法学部系／非法曹コース）」に係る法科大学院課程修了の受験資格を取得し、かつ、記入基準日現在、「司法大学法科大学院（既修者コース2年目／法学部系／非法曹コース）」に在学している方で、令和8年5月頃に司法大学に係る法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであって、司法大学法科大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは法務大学法科大学院課程修了の受験資格に基づき受験することを希望する場合

※ 受験資格コード「4」を選択した方は、法科大学院課程「在学中」の受験資格に関する事項を【法科大学院】欄に、法科大学院課程「修了」の受験資格に関する事項を【法科大学院以外】欄にそれぞれ記入してください。

⑪受験資格等	コード	元号	年	月	
	4 R 0 8 0 4	← 法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します（令和8年司法試験においては「令和8年4月」）。			
最終学歴	法科大学院	平成 （令和）9年3月 司法大学 法科大学院 修了（既修） 中退 未修 （修了見込）			法曹コース ○は不要です。
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	
I 6 0 8 1 2 1 M O J - I 2 3 4 5 6 7					
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和 平成 （令和）7年3月 法務大学法科大学院 中退 卒業見込 修了見込 未修			既修 ○は不要です。
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	
I 6 2 0 1 2 1 P O P - 3 4 5 6 7 8 9					← 受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、 法科大学院課程修了の受験資格に関する事項 を記入してください。

記入例5

法科大学院課程在学中の受験資格かつ司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方（受験資格コード「5」の場合）

令和9年3月に法科大学院課程を修了する見込みの方（記入基準日現在：未修者コース4年目／法学部系／非法曹コース）で、令和7年司法試験予備試験合格の受験資格を取得し、かつ、令和8年5月頃に法科大学院課程在学中の受験資格を取得する見込みであって、同大学院課程在学中の受験資格を取得したときは同受験資格に基づき受験し、同受験資格を取得できなかったとき又は試験終了日までに同受験資格を喪失したときは司法試験予備試験合格の受験資格に基づき受験することを希望する場合

⑪受験資格等	コード	元号	年	月	
	5 R 0 8 0 4	← 法科大学院在学中の受験資格に基づき出願する場合は、法第4条に定める受験期間の始期の年月を和暦で記入します（令和8年司法試験においては「令和8年4月」）。			
最終学歴	法科大学院	平成 （令和）9年3月 司法大学 法科大学院 修了（既修） 中退 未修 （修了見込）			法曹コース ○は不要です。
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	
I 6 0 8 2 2 1 M O J - I 2 3 4 5 6 7					
最終学歴コード	法科大学院以外	昭和 平成 令和 年 月 法務大学法科大学院 中退 卒業見込 修了見込 未修			既修 ○は不要です。
		法科大学院コード	既修・未修等	同意	
					← 受験資格コード欄に「4」と記入した方のみ、 法科大学院課程修了の受験資格に関する事項 を記入してください。

法科大学院コード表

区分	法科大学院名	コード	区分	法科大学院名	コード
1	東北学院大学大学院法務研究科	1101	3	愛知学院大学大学院法務研究科	1301
	東北大学大学院法学研究科	1102		愛知大学大学院法務研究科	1302
	北海学園大学大学院法務研究科	1103		金沢大学大学院法学研究科法務専攻	1303
	北海道大学大学院法学研究科	1104		静岡大学大学院法務研究科	1304
2	青山学院大学大学院法務研究科	1201		信州大学大学院法曹法務研究科	1305
	大宮法科大学院大学法務研究科	1202		中京大学大学院法務研究科	1306
	学習院大学大学院法務研究科	1203		名古屋大学大学院法学研究科	1307
	神奈川大学大学院法務研究科	1204		南山大学大学院法務研究科	1308
	関東学院大学大学院法務研究科	1205		新潟大学大学院実務法学研究科	1309
	慶應義塾大学大学院法務研究科	1206		名城大学大学院法務研究科	1310
	國學院大學大学院法務研究科	1207		山梨学院大学大学院法務研究科	1311
	駒澤大学大学院法曹養成研究科	1208	4	大阪学院大学大学院法務研究科	1401
	上智大学大学院法学研究科	1209		大阪公立大学大学院法学研究科(大阪市立大学)	1402
	駿河台大学大学院法務研究科	1210		大阪大学大学院高等司法研究科	1403
	成蹊大学大学院法務研究科	1211		関西大学大学院法務研究科	1404
	専修大学大学院法務研究科	1212		関西学院大学大学院司法研究科	1405
	創価大学大学院法務研究科	1213		京都産業大学大学院法務研究科	1406
	大東文化大学大学院法務研究科	1214		京都大学大学院法学研究科	1407
	千葉大学大学院専門法務研究科	1215		近畿大学大学院法務研究科	1408
	中央大学大学院法務研究科	1216		甲南大学大学院法学研究科	1409
	筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院	1217		神戸学院大学大学院実務法学研究科	1410
	桐蔭横浜大学大学院法務研究科	1218		神戸大学大学院法学研究科	1411
	東海大学大学院実務法学研究科	1219		同志社大学大学院司法研究科	1412
	東京大学大学院法学政治学研究科	1220		姫路獨協大学大学院法務研究科	1413
	東京都立大学大学院法学政治学研究科(首都大学東京)	1221		立命館大学大学院法務研究科	1414
	東洋大学大学院法務研究科	1222		龍谷大学大学院法務研究科	1415
6	獨協大学大学院法務研究科	1223	5	岡山大学大学院法務研究科	1501
	日本大学大学院法務研究科	1224		香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科	1502
	白鷗大学大学院法務研究科	1225		島根大学大学院法務研究科	1503
	一橋大学大学院法学研究科	1226		広島修道大学大学院法務研究科	1504
	法政大学大学院法務研究科	1227		広島大学大学院人間社会科学研究科	1505
	明治学院大学大学院法務職研究科	1228		鹿児島大学大学院司法政策研究科	1601
	明治大学専門職大学院法務研究科	1229		九州大学大学院法務学府	1602
	横浜国立大学大学院国際社会科学府	1230		熊本大学大学院法曹養成研究科	1603
	立教大学大学院法務研究科	1231		久留米大学大学院法務研究科	1604
	早稲田大学大学院法学研究科法曹養成専攻	1232		西南学院大学大学院法務研究科	1605
				福岡大学大学院法曹実務研究科	1606
				琉球大学大学院法務研究科	1607

※ 区分ごとの五十音順になっています。

※ 令和8年4月1日現在の学科名を表記しています。旧学科を修了された方については、現行学科名を選択してください。

既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等コード表

既修者／未修者コース	法学部系／非法学部系	法曹／非法曹コース	コード
既修者コース	法学部系	法曹コース（早期卒業等）	11
既修者コース	法学部系	法曹コース（早期卒業等以外） 非法曹コース	12
既修者コース	非法学部系	—	13
未修者コース	法学部系	法曹コース（早期卒業等）	21
未修者コース	法学部系	法曹コース（早期卒業等以外） 非法曹コース	22
未修者コース	非法学部系	—	23

【法曹コースについて】

法曹コース（＊）とは、文部科学大臣により認定を受けた法曹養成連携協定に基づき設置された「連携法曹基礎課程」を指します。

- **ここでは、法曹コースを修了し、早期卒業・飛び入学により学部3年次を終えた時点で法科大学院に進学した場合のみ「法曹コース（早期卒業等）」を選択してください。**
- **法曹コースを修了し、学部4年次以上で卒業して法科大学院に進学した場合は、「法曹コース（早期卒業等以外）」を選択してください。**

* 法曹コースは、文部科学省ホームページ (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/1422481_00007.htm) を御覧ください。なお、法科大学院入学者選抜の区分（一般選抜、特別選抜等）は問いません。

【既修者／未修者コース、法曹／非法曹コース等のコードについて】

11 既修者コース－法学部系－法曹コース : 法曹コースを修了し、早期卒業・飛び入学により学部3年次を終えた時点で法科大学院の既修者コースに進学した場合
(早期卒業等)

12 既修者コース－法学部系－法曹コース : 法曹コースを修了し、学部4年次以上で卒業して法科大学院の既修者コースに進学した場合
(早期卒業等以外)
非法曹コース : 法学部系学部を卒業（法曹コースを除く）し、法科大学院の既修者コースに進学した場合

13 既修者コース－非法学部系 : 法学部系学部以外の学部を卒業して法科大学院の既修者コースに進学した場合

21 未修者コース－法学部系－法曹コース : 法曹コースを修了し、早期卒業・飛び入学により学部3年次を終えた時点で法科大学院の未修者コースに進学した場合
(早期卒業等)

22 未修者コース－法学部系－法曹コース : 法曹コースを修了し、学部4年次以上で卒業して法科大学院の未修者コースに進学した場合
(早期卒業等以外)
非法曹コース : 法学部系学部を卒業（法曹コースを除く）し、法科大学院の未修者コースに進学した場合

23 未修者コース－非法学部系 : 法学部系学部以外の学部を卒業して法科大学院の未修者コースに進学した場合

⑫希望エリア

⑫希望エリア

受験を希望するエリアについて、本紙 16 ページの「希望エリアコード表」から該当コードを選択し、該当コード及び希望エリア名を記入してください（希望エリア名は、「希望エリアコード表」の「希望エリア」に記載のとおり記入してください。（ただし、「希望エリア」に記載されている「※部分」は記入不要）。

※ 北海道、宮城県及び沖縄県の受験希望エリアの選択は、現住所が当該道県内（受験特別措置を希望される方は、「又はその周辺」を含む。）にある方に限り、有効となります。

それ以外の方が選択した場合は、選択を無効として、適宜の試験会場を指定しますので、注意してください。

※ 受験希望エリア内に設置される試験会場の定員を受験希望者数が上回った場合、抽選により選定し、抽選に漏れた方には、当該エリア外の空席のある試験会場（近隣の都道府県を含む。）を指定します。

また、受験希望エリア内の受験希望者数が極めて少ないとときは、当該エリア内に試験会場を設置せず、当該エリア外の空席のある試験会場（近隣の都道府県を含む。）を指定する場合があります。

※ 受験特別措置を希望される方については、「201:【住所制限】北海道又はその周辺」～「208:【住所制限】沖縄県又はその周辺」のコードを選択してください。受験希望エリア、措置内容及び試験会場の施設状況等を考慮して、試験会場を指定します。

記入例

宮城県の東部を希望エリアとして選択する場合

⑫希望エリア	コード			エリア名
	1	0	6	
				【住所制限】宮城県（東部）

希望エリアコード表

試験地	コード	希望エリア
北海道	101	【住所制限】北海道
青森県	102	青森県
岩手県	103	岩手県
宮城県	104	【住所制限】宮城県(中部) ※仙台市又はその周辺の市
	105	【住所制限】宮城県(北部) ※大崎市又はその周辺の市
	106	【住所制限】宮城県(東部) ※石巻市又はその周辺の市
秋田県	107	秋田県
山形県	108	山形県
福島県	109	福島県
茨城県	110	茨城県(中部) ※水戸市又はその周辺の市
	111	茨城県(南部) ※つくば市又はその周辺の市
栃木県	112	栃木県
群馬県	113	群馬県
埼玉県	114	埼玉県(南部) ※さいたま市・所沢市又はその周辺の市
	115	埼玉県(北部) ※熊谷市又はその周辺の市
千葉県	116	千葉県
東京都	117	東京都(23区)
	118	東京都(23区以外) ※立川市・町田市又はその周辺の市
神奈川県	119	神奈川県(東部) ※横浜市・川崎市又はその周辺の市
	120	神奈川県(中部) ※平塚市・厚木市又はその周辺の市
新潟県	121	新潟県
富山県	122	富山県
石川県	123	石川県
福井県	124	福井県
山梨県	125	山梨県
長野県	126	長野県
岐阜県	127	岐阜県
静岡県	128	静岡県
愛知県	129	愛知県(西部) ※名古屋市又はその周辺の市
	130	愛知県(中部) ※豊橋市・岡崎市又はその周辺の市
三重県	131	三重県
滋賀県	132	滋賀県
京都府	133	京都府

試験地	コード	希望エリア
大阪府	134	大阪府(中部、北部) ※大阪市・高槻市又はその周辺の市
	135	大阪府(南部) ※堺市・岸和田市又はその周辺の市
兵庫県	136	兵庫県
奈良県	137	奈良県
和歌山县	138	和歌山县
鳥取県	139	鳥取県
島根県	140	島根県
岡山县	141	岡山县
広島県	142	広島県(中部) ※広島市又はその周辺の市
	143	広島県(東部) ※福山市又はその周辺の市
山口県	144	山口県(中部) ※山口市又はその周辺の市
	145	山口県(西部) ※下関市又はその周辺の市
徳島県	146	徳島県
香川県	147	香川県
愛媛県	148	愛媛県
高知県	149	高知県
福岡県	150	福岡県(西部) ※福岡市又はその周辺の市
	151	福岡県(北部) ※北九州市又はその周辺の市
	152	福岡県(南部) ※久留米市又はその周辺の市
佐賀県	153	佐賀県
長崎県	154	長崎県
熊本県	155	熊本県
大分県	156	大分県
宮崎県	157	宮崎県
鹿児島県	158	鹿児島県
沖縄県	159	【住所制限】沖縄県
受験特別措置申出者	201	【住所制限】北海道又はその周辺
	202	【住所制限】宮城県又はその周辺
	203	東京都又はその周辺
	204	愛知県又はその周辺
	205	大阪府又はその周辺
	206	広島県又はその周辺
	207	福岡県又はその周辺
	208	【住所制限】沖縄県又はその周辺

上記希望エリアに市の記載がないエリアは、県庁所在地又はその周辺の市を予定しています。

⑬受験特別措置の希望

⑬受験特別措置 の希望 (該当者のみ)

視覚障害、肢体障害、その他身体に障害等があるため、受験特別措置を希望する方は、「1」を記入してください（希望しない方は、記入不要）。

なお、受験特別措置を希望する方は、「司法試験身体障害者等受験特別措置申出書」及び「障害や傷病の程度を証明する書類」等を受験願書に同封して郵送してください。

詳細は、受験案内14ページの「第8 身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置」を参照してください。

記入例

受験特別措置を希望する場合

⑬受験特別 措置の希 望	コード

⑭選択科目

⑭選択科目

論文式試験で受験する選択科目のうち、以下の「選択科目コード表」から該当コード及び科目名を記入してください。出願後の選択科目の変更はできません。

記入例

選択科目として「倒産法」を希望する場合

⑭選択科目	コード	選択科目名
	101	倒産法

選択科目コード表

選択科目	コード
倒産法	101
租税法	102
経済法	103
知的財産法	104
労働法	105
環境法	106
国際関係法（公法系）	107
国際関係法（私法系）	108

⑮写真貼付欄

⑮写真貼付欄

受験案内5ページの「3 提出書類」に従い、受験願書に写真を貼り付け、撮影年月を記入してください。写真の裏面に氏名及び生年月日を記入の上、全面をのり付けし、しっかりと貼り付けてください。

※ 写真は出願前6月以内に撮影されたカラー写真とし、機械で読み取りますので、不鮮明なものや指定された規格に適合しないものなど、受験写真として不適当なものは差替えをお願いする場合があります。

⑯現住所（郵便物送付先住所）欄

⑯現住所（郵便物送付先住所）欄

司法試験委員会から送付する郵便物の送付先住所として、郵便番号及び現住所を記入してください（日本国内の住所に限ります。）。アパート名、室番号、同居先まで正確に記入してください。

郵便物送付先の宛名に旧姓又は通称の使用を希望する場合は、【③通称又は旧姓（該当者のみ）】欄（本紙1ページ）も記入する必要があります。

なお、受験票等の郵便物は令和8年5月以降に送付します。

※ 本欄は機械で画像を読み取り、郵便物の送付先としてそのまま使用しますので、楷書で、濃く丁寧に記入してください。

記入例

⑯現住所（郵便物送付先住所）欄

郵便番号	1 0 0	-	8 9 7 7
住所	東京都千代田区千代田霞ヶ関1-1-1		
	司法アパート 101号室		
氏名	法務 みずき 様		

郵便物送付先の宛名に、旧姓又は通称の使用を希望する場合は、【③通称又は旧姓（該当者のみ）】欄も記入してください（例は、旧姓（法務みずき）の使用を希望する場合）。

⑰連絡先欄

⑰連絡先欄

司法試験委員会から連絡する際に使用しますので、正確に記入してください。

【電話番号1】欄は、該当する項目を○で囲み、確実に連絡が取れる番号を記入してください。

【電話番号2】欄は、該当する項目を○で囲み、上記以外で確実に連絡が取れる番号を記入してください。

【E-mail】欄は、メールアドレスを記入してください。携帯電話のメールアドレスでも可能です。

記入例

⑰連絡先欄

電話番号1	(携帯) 勤務先・帰省先・その他・なし (090) 1234 - 5678
電話番号2 (上記以外)	(携帯) 勤務先・帰省先・その他・なし (03) 3580 - 4111
E-mail	abc@defghi.co.jp

※電話番号については、確実に連絡が取れる番号を記載してください。

また、「03-3580-4111」は司法試験委員会（法務省代表）の電話番号ですので、つながるようにしてください。

収入印紙貼付欄

収入印紙貼付欄

受験手数料として、32,000円分の収入印紙（現金・郵便切手・都道府県発行の収入証紙等は不可）を受験願書の指定枠内に貼り付けてください。収入印紙の枚数は4枚以内とし、貼り付けるときは、剥がれないようにしっかりとのり付けしてください。金額は過不足のないように注意してください（金額が超過する場合も受理できません。）。また、消印はしないでください。

受験願書記入例

令和9年3月に法科大学院課程（既修者コース／法学部系／法曹コース（早期卒業等））を修了する見込みの者で、法科大学院課程在学中の受験資格に基づき出願する場合

令和8年 司法試験受験願書

私は、司法試験法第4条に規定する受験資格を有しております。
また、この受験願書の記載事項は事実に相違ありません。

(姓)	シホウ	(名)	ミス。キ
カタカナ	シホウ		
①氏名	司法	みづき	

(姓)	ホウム	(名)	ミス。キ
カタカナ	ホウム		
②旧姓	法務	みづき	

(姓)	ホウム	(名)	ミス。キ
カタカナ	ホウム		
③通称 又は旧姓	法務	みづき	

④本籍地又は 国籍	コード	43	本籍地又は 国籍名	熊本	都道 府県
--------------	-----	----	--------------	----	----------

⑤生年月日	元号	年	月	日	コード
	H	080917			⑥性別

⑦受験資格等	コード	元号	年	月	回数	R4	R5	R6	R7
	3R0804				申司法試験 受験回数	0	受験年		

◆ 出願したものの受験しなかった場合は記入しません。

最終学歴	法科大学院	平成 令和 9年3月 司法大学 法科大学院			修了	既修	法曹コース
		中退	未修	未修	非法曹コース		
			既修・未修等	同意	学籍番号		
			I60811	IM0J-1234567			

◆ 非法部系の方は法曹・非法曹コースの
○は不要です。

最終学年コード	法科大学院等以外	昭和 平成 令和 年 月			卒業		
		中退	修了	既修	未修		
			既修・未修等	同意	学籍番号		
			I60811	IM0J-1234567			

◆ 受験資格コード欄に「1」と記入した方のみ、
法科大学院課程修了の受験資格に関する事項
を記入してください。

⑧希望エリア	コード	エリア名	⑨受験特別 措置の希望	コード	選択科目名
	I37	奈良県	I	I03	労働法 経済法

⑩写真貼付欄 □

⑪現住所(郵便物送付先住所) 指定

⑫連絡先欄

写 真
バスポート申請用写真
と同一規格
(縦45mm×横35mm)
注 意

- 出願者本人のみ
- 6月以内に撮影したもの
- 正面、無帽、無背景、カラー
- 頭頂から脚までなる有縮度
- 貼付した写真是試験当日の
本人確認に使用されます。

撮影年月 令和 年 月

郵便番号 100-8977
住所 東京都千代田区千代田霞ヶ関1-1
氏名 司法 みづき 様

電話番号1	携帯・勤務先・帰省先・その他・なし (090) 1234 - 5678
電話番号2	携帯・勤務先・帰省先・その他・なし (03) 3580 - 4111
E-mail	abc@defghi.co.jp

※電話番号については、確実に連絡が取れる番号を記載して下さい。
また、「03-3580-4111」は司法試験検査委員会(法務省代表)
の電話番号ですので、つながるようにして下さい。

収入印紙貼付欄 □ () 点線枠内には、印紙を貼らないでください。

32,000円分の収入印紙を4枚以内で、点線枠内に貼り付けてください。
過不足のないようにしてください。
消印はしないでください。

* 以下の事務処理欄には何も記入しないでください。

※事務処理欄	□ 全体確認
□ 写真貼付確認	□ 受験資格確認
□ 受験手数料確認	□ 受験特別措置確認
□ 住民票確認	
□ 氏名漢字変更確認	
□ 支付不備取込	